

多治見で“働こCAR”

所在地／岐阜県多治見市
事業主／株式会社エネファント
事業スタート／2019年4月



エネファント本社は給電ステーション「でんきの駅」も兼ねている



2台のパワーコンディショナ (5.5kW, 4.4kW)



給電中のエルシーヴ hekia S



太陽電池モジュールHIT325A 13kWを搭載したソーラーガレージ。駐車した電気自動車4台に充電するとともに、電力逼迫時には電気自動車を蓄電池として利用する計画

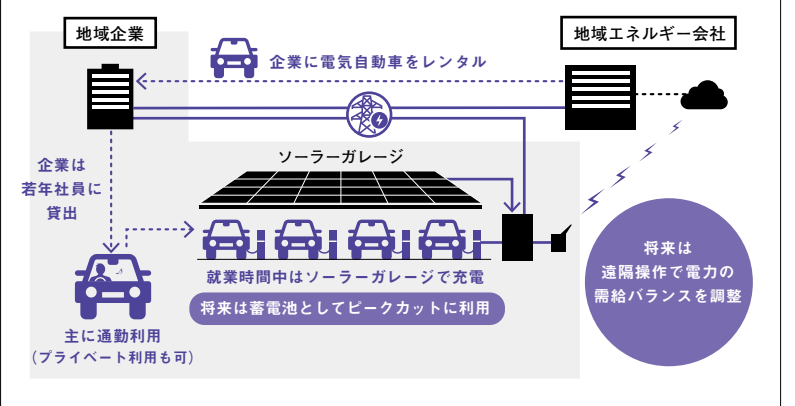
再生可能エネルギーをクルマに蓄めて
電力需給の安定化を計画

“土と炎のまち”と呼ばれる岐阜県多治見市は、美濃焼に代表される窯業中心の地域。ここで、家庭用太陽光発電の普及に尽力してきた株式会社エネファントは、再生可能エネルギーによる売電と小売を手がける『たじみ電力』も経営する。「地域の中でエネルギーを上手に蓄えるビジネスとして『多治見で働こCAR』を考え、普及のために多治見市主催の『たじみビジネスコンテスト』に応募して特別賞を受賞した」と語るのはエネファントの代表取締役 磯崎 顕三氏。「多治見市の企業が若い就職者に、電気自動車（レンタ

カー）を貸し、就業時間中はソーラーガレージにつないで充電。将来的には、当社のCEMS※から充放電制御を行い電力需給バランスを調節する。通勤などにクルマが必須の地域では、自動車のための費用が軽減され、地元で求人する企業では若者の採用増が見込める。太陽光発電は償却が終わるとほぼ無料で電気を造れる。そうすればゼロ円でクルマが走る時代が来るだろう。現在は窯業の熱源に多くの化石燃料を輸入しているが、再生可能エネルギーの比率が多くなって『再生可能エネルギーのまち多治見』という知名度が高くなると、RE100をめざす企業も集まるのではないかと語る。

※CEMS：Community Energy Management System

働こCARの仕組み

ウェブサイトでも
ご覧いただけます

主な設備

- 太陽電池モジュールHIT325A
- パワーコンディショナ
- エルシーヴ hekia S

多治見で“働こCAR”

TAJIMI DE HATARAKO CAR